

平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月16日

上場会社名 藤森工業株式会社

上場取引所 東証一部

コード番号 7917

URL <http://www.zacros.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 藤森 明彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理担当 飯島 崇夫 TEL (03) 3661-4211

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	18,460	4.3	117	△66.9	142	△62.9	91	△57.1
19年3月期第1四半期	17,694	10.0	353	△0.2	383	5.3	212	7.4
19年3月期	76,606	—	2,083	—	2,136	—	1,118	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	5	26	—	—
19年3月期第1四半期	12	26	—	—
19年3月期	64	68	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
20年3月期第1四半期	80,103		29,308		36.0		1,666 10	
19年3月期第1四半期	65,951		28,313		42.3		1,636 73	
19年3月期	75,726		29,146		37.9		1,658 39	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第1四半期	113		△2,680		1,719		3,583	
19年3月期第1四半期	25		△587		574		2,092	
19年3月期	5,284		△7,656		4,673		4,392	

2. 配当の状況

(基準日)	1 株当たり配当金					
	中間期末		期 末		年 間	
	円	銭	円	銭	円	銭
平成 19 年 3 月期	10	00	10	00	20	00
平成 20 年 3 月期 (予想)	10	00	10	00	20	00

3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	37,500	2.2	△175	△120.1	△210	△122.1	△190	△137.8	—	
通 期	80,500	5.1	1,925	△7.6	1,790	△16.2	1,040	△7.0	60 円	12 銭

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期における国内経済は、外需の成長寄与度は低下しゼロとなりましたが、内需は好調な伸びを示した設備投資と穏やかな増加を維持した個人消費に支えられ底堅く展開した結果、実質成長率は微増に留まったものの、その成長軌道を維持いたしました。

市場環境は、原油・ナフサ価格の高騰による原材料価格の値上げが継続する中、機能材料関連ではフラットパネルディスプレイ等の市場は拡大するも価格競争は激化しており、更に包装・容器関連市場では消費の弱含み傾向等から製品への価格転嫁が容易でない状況が続くなど、引続き利益を圧迫する状況にありました。

このような環境の下で、当社グループ（当社及び連結子会社）では化成品事業の包装部門、機能材料部門を主体に受注を伸ばしたこと等から、売上高は前年同期を上回る実績となりました。損益面では、売上高を伸ばしつつ包装部門を中心に高付加価値製品の販売強化により利益を確保した一方で、新設された当社昭和事業所の設備投資に伴う減価償却費の増大、前倒しでの増員・訓練実施による生産関連人件費の増加、材料費の上昇等により、前年同期比では減益となりました。

その結果、当第 1 四半期における業績は、売上高 184 億 60 百万円（前年同期比 4.3%増）、営業利益 1 億 17 百万円（前年同期比 66.9%減）、経常利益 1 億 42 百万円（前年同期比 62.9%減）、四半期純利益 91 百万円（前年同期比 57.1%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期末における総資産は、特に当社昭和事業所の設備投資等による固定資産が大きく増加したことにより、前連結会計年度末に対して 43 億 76 百万円増加の 801 億 3 百万円となりました。

負債につきましては、設備投資にかかる長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に対して 42 億 14 百万円増加の 507 億 94 百万円となりました。

純資産は少数株主持分 4 億 86 百万円を含めて 293 億 8 百万円に、自己資本比率は 36.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第 1 四半期末における現金及び現金同等物の残高は、期首残高に比べて 8 億 8 百万円減少し、35 億 83 百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、たな卸資産の増加、売上債権の増加及び法人税等の支払などの資金減少要因があったものの、当社昭和事業所を中心に減価償却費 11 億 21 百万円、税金等調整前四半期純利益 1 億 72 百万円があったこと等から、1 億 13 百万円の収入となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、当社昭和事業所等における有形固定資産の取得等により 26 億 80 百万円の支出となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は借入金の増加等により 17 億 19 百万円の収入となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点においては、平成 19 年 5 月 18 日に公表いたしました中間期及び通期の業績予想に変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

(内容) ① 一般債権に係る貸倒引当金の計算

前連結会計年度における貸倒実績率を用いて計算しております。

② 固定資産の減価償却の方法

年度見込額のうち当四半期分を計上しております。

③ 税金費用の計算

連結会社の個別財務諸表上の税金費用については、法定実効税率をベースとした、当連結会計年度の予測税率を用いて計算しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理方法の変更

当第 1 四半期より法人税法の改正に伴い、平成 19 年 4 月 1 日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づいた償却方法により減価償却費を計上しております。

また、平成 19 年 3 月 31 日以前に取得した有形固定資産のうち、償却可能額までの償却が終了しているものについては、残存簿価を 5 年間で均等償却しております。

なお、この結果、従来の方法によった場合に比べ、当第 1 四半期の減価償却費は 85 百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ 85 百万円減少しております。

5. (要約) 四半期連結財務諸表
 (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額
(資産の部)			
I 流動資産			
1. 現金及び預金	2,332	3,773	4,632
2. 受取手形及び売掛金	22,814	24,307	23,744
3. たな卸資産	8,647	9,470	8,067
4. その他	1,456	1,857	2,058
流動資産合計	35,251	39,408	38,502
II 固定資産			
1. 有形固定資産	24,790	34,771	31,373
2. 無形固定資産	906	755	811
3. 投資その他の資産	5,002	5,167	5,038
固定資産合計	30,700	40,694	37,223
資産合計	65,951	80,103	75,726
(負債の部)			
I 流動負債			
1. 支払手形及び買掛金	16,352	19,586	19,080
2. 短期借入金	2,483	1,385	3,597
3. 賞与引当金	403	438	818
4. 役員賞与引当金	—	7	37
5. その他	6,655	10,337	8,239
流動負債合計	25,895	31,754	31,773
II 固定負債			
1. 社債	200	200	200
2. 長期借入金	5,956	13,223	9,115
3. 退職給付引当金	3,490	3,563	3,474
4. 役員退職引当金	321	339	346
5. その他	1,774	1,713	1,671
固定負債合計	11,742	19,039	14,807
負債合計	37,638	50,794	46,580
(純資産の部)			
I 株主資本			
株主資本合計	26,655	27,307	27,389
II 評価・換算差額等			
評価・換算差額等合計	1,245	1,514	1,298
III 少数株主持分	412	486	457
純資産合計	28,313	29,308	29,146
負債、純資産合計	65,951	80,103	75,726

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増減		(参考)前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額	増減率(%)	金額
I 売上高	17,694	18,460	765	4.3	76,606
II 売上原価	14,840	15,698	858	5.8	64,044
売上総利益	2,854	2,761	△ 93	△ 3.3	12,561
III 販売費及び一般管理費	2,500	2,644	143	5.8	10,477
営業利益	353	117	△ 236	△ 66.9	2,083
IV 営業外収益	115	142	27	23.8	475
V 営業外費用	85	117	31	37.4	422
経常利益	383	142	△ 241	△ 62.9	2,136
VI 特別利益	23	30	6	27.7	53
VII 特別損失	1	0	△ 1	△ 76.6	147
税金等調整前四半期 (当期)純利益	406	172	△ 233	△ 57.5	2,042
税金費用	197	76	△ 120	△ 61.2	882
少数株主利益	△ 3	4	7	△ 260.2	40
四半期(当期)純利益	212	91	△ 121	△ 57.1	1,118

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考)前期 (平成19年3月期)
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	406	172	2,042
減価償却費	782	1,121	3,568
売上債権の増減額(増加:△)	△ 227	△ 734	△ 1,770
たな卸資産の増減額(増加:△)	△ 882	△ 1,354	△ 296
法人税等の支払額	△ 945	△ 332	△ 1,565
その他の増減額(減少:△)	892	1,241	3,306
営業活動によるキャッシュ・フロー	25	113	5,284
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 658	△ 2,812	△ 7,788
その他の収支(支出:△)	70	131	131
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 587	△ 2,680	△ 7,656
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(減少:△)	△ 150	△ 900	750
長期借入れによる収入	1,000	4,500	5,200
長期借入金の返済による支出	△ 95	△ 1,704	△ 921
その他の収支(支出:△)	△ 179	△ 176	△ 354
財務活動によるキャッシュ・フロー	574	1,719	4,673
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	10	38	22
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	24	△ 808	2,323
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,068	4,392	2,068
VII 現金及び現金同等物の期末残高	2,092	3,583	4,392